

日本鉄鋼協会記事

理事会(第10回)

日時: 2月17日 16:00 開催. 場所: 協会会議室. 出席者: 湯川会長ほか31名.

報告事項 I. 第12回編集委員会に関する件. II. 第10回企画委員会に関する件. III. 標準化委員会に関する件. IV. 鉄鋼基礎共同研究会運営委員に関する件. V. 特別講演会開催に関する件.

協議事項 I. 昭和39年度事業報告, 収支決算ならびに財産目録の件. II. 昭和40年度事業計画案, 収支予算案の件. III. 次期理事, 監事ならびに評議員候補者推薦の件. IV. 創立50周年記念事業の件. V. 名誉会員推挙の件. VI. 表彰規程変更の件. VII. 次期表彰者に関する件. VIII. 九州, 北陸各支部に昭和39年度補助金交付の件. IX. 藤原賞候補者推薦に関する件. X. 第9回材料試験連合講演会共催ならびに運営委員推薦の件. XI. 昭和40年1月中入退会その他会員異動に関する件. XII. 昭和40年1月中および2月中収支決算に関する件.

理事会(昭和40年度第1回)

日時: 3月17日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 湯川会長ほか 名.

報告事項 I. 昭和40年度第1回編集委員会に関する件. II. 昭和40年度第1回企画委員会に関する件. III. 昭和40年度第1回研究委員会に関する件. IV. 金属研究の将来計画に関する件. V. 標準化委員会に関する件. VI. 九州, 北陸, 中国四国各支部に39年度支部補助金交付の件. VII. 中国四国支部に渡辺記念講演会開催資金交付の件. VIII. 鉄鋼材料便覧編集に関する件. IX. 工学関係学会長懇談会に関する件. X. 昭和39年度東洋レーヨン科学技術賞, 研究助成金受贈者決定の件. XI. 第1回山路ふみ子自然科学奨学賞受贈者決定の件.

協議事項 I. 第50回通常総会および第69回講演大会開催に関する件. II. 創立50周年記念事業に関する件. III. 40年度予算に関する件. IV. 秋季講演大会に関する件. V. 鉄鋼基礎共同研究会会長に関する件. VI. 各国鉄鋼協会専務理事会議開催に関する件. VII. 世界動力会議東京部会論文に関する件. VIII. 第4回X線応力測定に関するシンポジウム協賛の件. IX. 第8回自動制御連合講演会開催に関する件.

企画委員会

第10回委員会 2月16日 16:00 開会. 場所: 協会会議室.

議題 I. 来年度予算案に関する件. II. 表彰規程変更に関する件. III. 第9回材料試験連合講演会共催の件. IV. 藤原賞候補者推薦に関する件. V. 国際会議の開催予定に関する件.

昭和40年度第1回委員会 3月16日 16:00 開会. 場所: 協会会議室.

議題 1. 第4回X線応力測定に関するシンポジウム

協賛の件. I. 第8回自動制御連合講演会開催に関する件. II. 「軟鋼の塑性」セミナー協賛に関する件. IV. 朝日学術奨励金候補推薦に関する件. V. 世界動力会議東京部会論文に関する件.

研究委員会

第11回委員会 日時: 2月19日 16:00 開会. 場所: 協会会議室.

議題 I. 鉄鋼基礎共同研究会運営委員について. II. 設備技術共同研究に関する件. III. 講演会, 講習会の開催について. IV. 金属研究の将来の推進について. V. 国際会議の開催予定に関する件.

昭和40年度第1回委員会 日時: 3月12日 16:00 開会. 場所: 協会々議室.

議題 I. 国際会議の開催準備について. II. 金属研究将来の推進について.

編集委員会

第12回委員会 日時: 2月10日 16:00 開会. 場所: 協会々議室.

報告事項 I. 第51年第1号の完成および第2号完成の予定について. 2. 第69回講演大会見学工場編成について.

協議事項 I. 論文審査. II. 第51年第7号(6月号)掲載論文選定.

昭和40年度第1回委員会 日時: 3月11日 16:00 開会. 場所: 協会々議室.

報告事項 I. 第51年第2号の完成および3号, 4号, 5号の完成予定について. II. 「鋼の脱酸の物理化学的原理」の完成予定について.

協議事項 I. 論文審査. II. 第51年第8号(7月号)掲載論文選定. III. 討論会形式の講演会について.

評議員逝去 評議員, 共同研究会新技術開発部会長遠藤勝治郎氏(金属材料技術研究所科学研究官)は4月12日逝去されました. 謹んで哀悼の意を表します.

共同研究会

製鉄部会

第25回部会 開催日: 昭和40年1月27, 28日 場所: 新宿厚生年金会館. 出席者: 林部会長他104名

内容

- 講演 (1) “高炉の計算制御に関する一考察”
日本鋼管(株) 伊沢哲夫
(2) “高温送風に関する設備的な問題点,
ならびに高炉操業について”
尼崎製鉄(株) 鎌谷重雄

2. 共通議題

3. 自由議題

4. その他

第1回在京幹事会 開催日: 昭和40年1月11日. 場所: 日本鋼管(株)高輪寮. 出席者: 林部会長他11名.

第2回在京幹事会 開催日: 昭和40年2月17日

場所: 八幡製鉄(株) 山谷寮原. 出席者: 萩幹事他7名

第3回在京幹事会 開催日: 昭和40年2月24日.

場所: 協会々議室. 出席者: 林部会長他5名.

圧延理論分科会

第25回分科会 開催日: 昭和40年2月11, 12日. 場所:

大同製鋼・(本社) 健保会館および知多工場. 出席者: 安藤主査他38名.

内容

1. 高温ねじり試験関係…大同・中研, 東工大・作井研, 日鋼・室蘭
2. 変形抵抗関係…鋼管・技研, 早大・松浦研, 日立日研, 八幡鋼管, 住金中研,
3. 圧延における精度特性…八幡・技研, 日鋼・室蘭, 日立・日立, 芝浦・共工, 川鉄・千葉, 富士鉄・中研,
4. その他…富士・広畑, 東洋鋼板綜研
5. 特別講演: 「単軸遊星圧延機について」大同・中研

製鋼部会

第2回ホットストリップ小委員会 開催日: 昭和40年2月15, 16日. 場所: 協会々議室. 日本鋼管水江製鉄所出席者: 村田部会長他32名.

内容

第1日 会議議題

1. 工場操業成績調査
2. 精度調査
3. 加熱炉設備, 操業調査

第2日 日本鋼管水江製鉄所のホットストリップ工場を中心とした見学

熱経済技術部会

第30回部会 開催日: 昭和40年2月25, 26日. 場所: 鉄連会議室. 出席者: 桑畑副部会長他60名.

議題内容

1. 鉄鋼工場におけるエネルギーバランス
2. タイルレキュペレータの使用実績とその劣化防止対策
3. 工業窯炉のばい煙防止に関する研究
4. 鋼材加熱炉内熱伝達係数の検討
5. 平炉の熱勘定工業標準案について
6. その他

提出資料数は比較的少なかつたが, 活発に討論が行なわれた. 5. については最終案がまとまり, 工鉄院への提出の運びになつた.

計測部会

第30回部会 開催日: 昭和40年2月17, 18日. 場所: 住友金属工業小倉製鉄所. 出席者: 桂部会長, 磯部副部会長他68名.

内容

1. 報告事項: 2月5日“国産計器技術研究会”が日本電子工業振興協会主催で開催され, これに計測部会が「鉄鋼業における計器の現状」というテーマで報告講演を行なつた件が報告された.

2. 研究報告 (1) 高炉および付帯設備の計測制御, (八幡, 小倉, 水江, 釜谷, (2) 製鋼関係の計測制御(川崎, 小倉), (3) 集中管理(千葉, 八幡) (4) 管理上重要な計測(神戸, 八幡, 広畑, 西宮, 鋼管本社, 和歌山, 住金製鋼, (5) 熱処理炉の計測制御(愛知, 八幡技研, トビー豊橋) (6) 特別講演: 山武ハネウエル計器, (7) 鋼材温度, 測定用温度計アンケート(20ヶ所より)

品質管理部会

第13回部会 開催日: 昭和40年2月26, 27日. 場所: 住友金属工業和歌山製鉄所. 出席者: 辻畑部会長他70名

内容

1. 和歌山製鉄所における品質管理実施状況の報告および工場見学
2. 統一テーマ(品質保証)について討議各社の提出資料数11で, 活発な質議応答が行なわれた.
3. 自由テーマについて討議
提出資料数3であつた.

調査会部

幹事会 開催日: 昭和40年1月14日. 場所: 協会会議室. 出席者: 斎藤幹事他11名

幹事会 開催日: 昭和40年2月3日. 場所: 協会会議室. 出席者: 斎藤幹事他7名

幹事会 開催日: 昭和40年2月6日. 場所: 協会会議室. 出席者: 斎藤幹事他7名

幹事会 開催日: 昭和40年2月12日. 場所: 住友金属東京支社, 会議室. 出席者7名.

幹事会 開催日: 昭和40年2月19日. 場所: 住友金属東京支社, 会議室. 出席者: 木寺部会長他8名

新技術開発部会

直接還元法分科会

ロータリーキルン法小委員会(在京委員会) 開催日: 昭和40年2月19日. 場所: 協会々議室. 出席者: 木下委員長他10名

内容

1. 金材研ロータリーキルン使用試験のアンケート集計結果報告
圧倒的数で金材研の装置を使用して実験する事は賛成である.
2. 1.)の結果検討
テーマとしては
① 還元剤(炭材)の研究
② グリーンペレットの還元の研究を取上げたらと言う事になつている.
アンケート結果にそつて各社の具体的案を提出してもらつて再度検討する.
3. その他

鉄鋼分析部会

第5回 螢光X線分析分科会 J I S 原案作成委員会 開催日: 昭和40年2月18日. 場所: 協会々議室. 出席者: 川村主査他11名

内容

ステンレス鋼盤 X 光線分析方法 JIS 原案作成のための共同実験を行なったがこの結果の集計方法および分担について検討し Si-八幡, Mn-日金工, Cu-日本冶金, Ni-富士, Cr-大同, Mo-住金, Nb, Ti-東北特, 検査線, 図表-川鉄と決定した。引続きこの分担に従い各社で集録を行ない審議する予定である。

第 1 回鋼中非金属介在物 分析小委員会

開催日: 昭和40年2月1日. 場所: 協会応接室. 出席者 池上部会長他11名

内 容

1. 前川委員長あいさつ.
2. 共同実験結果
3. 今後の研究方針
分析方法の原案を統一して今後も精度追求を研究テーマとして続けて行く.
4. 共同実験(第2回)試料作成
日本製鋼所と日本鋼管が担当する.

原子力研究部会

第13回部会 開催日: 昭和40年2月1日. 場所: 協会々議室. 出席者: 長谷川部会長他8名

内 容

1. 従来通りの文献目録, 抄録, 翻訳文献の紹介を行なった.
2. 第3回ジュネーブ会議報告の抄訳を3件報告した.
3. 次回の開催は3月22日 17:00 よりとする.

標準化委員会

第4回幹事会 開催日: 昭和40年1月13日. 場所: 協会々議室. 出席者: 木下幹事長他17名

第2回委員会 開催日: 昭和40年2月3日. 場所: 協会々議室. 出席者: 作井委員長他27名

内 容

1. 次項につき報告および討議が行なわれた.
 - (1) 新分科会として, 「高速度鋼」「低マンガン鋼」「熱間薄板」「パネ鋼」関係の4つを設置する計画
 - (2) ISDのTC-17のWGへの参加の問題
 - (3) 機械工業における鋼材規格実態調査の計画
 - (4) 分科会作業進捗状況
 - (5) 工業標準化法改正に対する方針
 - (6) 熱処理用語の統一について

JIS 原案「プレス用鋼板」作成第2回分科会

開催日: 昭和40年1月22日. 場所: 協会々議室. 出席者: 五方主査他28名

内 容

前回保留となつた事項につき, 詳細に検討を行なった結果:

1. 名称は, 「自動車用」と限らず, 「プレス加工構造用～」という意味にするべく幹事はユーザーとも相談してきめる.
2. 機械試験値は一応, 自動車工業規格(APH)に準じて答申原案とする. 但し専門委までに, 降伏点と, 伸びの懸案事項を, メーカーとユーザーの代表

はそれぞれデータを用意しておくこと.

このように決定し, 3月中旬に答申原案を作成, 提出することとなつた.

第2回JIS 原案作成分科会「鋼材のチェック分析法」

開催日: 昭和40年2月2日. 場所: 協会々議室. 出席者: 河田主査他26名

内 容

1. 「鋼材のチェック分析法」JIS 原案, 第1次案の説明および審議を行なった.
2. 本日の決議事項に従つて幹事会社で第2次案を作成するが各社持帰り問題点を文書で連絡する.

JIS 原案作成「鋼材の疵の名称分類」

開催日: 昭和40年2月12日. 場所: 協会々議室. 出席者: 今泉主査他14名

内 容

原案作成についての方向づけを行なった.

1. キズの定義づけを行なうこととし, キズの程度, 限度は考えない.
2. maker 側からみた態度でまとめてゆく.
3. キズとしては, 目で見える表面キズとし, ヘン析白点, 磁粉探傷で表われるキズなどは含まない. キズとも, 寸法不良あるいは形状不良ともつかぬものも常識的な範囲で入れる, パイプの円段, 線材のカミ出しなど入れてみて, あとで整理する.
4. 分類は, まずキズの種類を列挙した上で, あとで考える.
5. 原因は, 可能な範囲で, 解説にでも入れてゆく.
6. 対象とする製品は, 圧延製品とし, 鍛造はあとで考える. スラブ・ピレットなどは含む. 特殊な処理のうち, 熱処理, プラスト, 酸洗などは含め, メッキなど表面処理は含まない. レールなど特殊製品はのぞく. 対象は熱板・冷板・条(分塊製品, 線材を含む)・管・線くらいに大分割してすすめる.
7. 鋼種は一応全鋼種とし, JIS 鋼材にきめられたもの, Fe 50% くらいまで含めてすすめる.
8. 名称は当面日本語のみとする.

第2回炭素鋼標準成分分科会

開催日: 昭和40年2月3日 場所: 協会々議室. 出席者: 荒木主査他21名

内 容

前回の結果を各社持ち帰り, その検討結果に基づいて討議した. 今度の規格を「鋼材規格」とするか「成分規格」とするかで意見がまとまらず, また次回に持越すことになつた.

資料委員会

第17回委員会 開催日: 昭和40年1月13日. 場所: 協会々議室. 出席者: 田畑専務理事他13名

内 容

1. Translation of British Iron & Steel Inst. の具体的講入方式: 過去4回の討議の結果, Trans B.I.S.I. の講入方式は(A)製鉄(B)製鋼, (C)圧延加工, (D)分析・耐火物その他の4グループから2

グループ以上選択する方式に決定。講入希望を各社あて2月上旬照会の予定。多数社の参加が望まれる。

2. 資料委員会は現在8社、1特殊機関から構成されているが、更に1社1研究所に加わってもらう必要の有無について検討中。

第18回委員会 開催日：昭和40年2月16日。場所：協会々議室。出席者：12名。

内容

1. 各社から集収されたカタログの分類を行なった。
2. Trans B.I.S.I. の輸送方法について討論した。
3. 情報センターにおける文献分類の方法についてうかがい、次回の議題とした。
4. その他

標準試料委員会

第14回委員会 開催日：昭和40年2月17日。場所：協会々議室。出席者：池上委員長他14名。

内容

1. 第13回標準試料委員会議事録確認。
2. 今後の拡充計画の変更について。
現情勢では前回検討の計画を実行するのは無理なので前計画の基本線で大規模な計画案を作り実行することになった。
3. 現在の鉄鋼標準成分の分析値の改訂および分析成分の追加について。
新JIS方法に改訂し追加成分は在庫の多いものからAs, Sn, Nの追加を考える。
4. その他

試験高炉委員会

第2回幹事会 開催日：昭和40年2月12日。場所：協会応接室。出席者：八塚主査他8名

国内炭活用製鉄用コークス製造試験委員会

連絡会 開催日：昭和40年1月19日。場所：協会々議室。出席者：吉田部長(協会)他6名

内容

試験に必要な石炭の取引き方法、量、質などまた今後の予定について協議した。

クリープ委員会

第4回幹事会 開催日：昭和40年1月11日。場所：協会々議室。出席者：俵副委員長他13名

「JIS原案作成第2回分科会」開催日：昭和40年1月20日。場所：協会々議室。出席者：平主査他

内容

1. 「高温引張試験方法のアンケート」まとめの報告。
アンケートによると、試験片、加熱時間、歪み速度などまつたくまとまりに欠けた現状であることが判明し、規格制定の必要性が痛感された。

2. 小委員会作成の第一次案の逐条審議：適用範囲から報告事項まで、詳細に討議した。

第5回幹事会 開催日：昭和40年2月10日。場所：協会々議室。出席者：俵、作井副委員長他14名。

「JIS原案作成第2回分科会」開催日：昭和40年1月10日。場所：協会々議室。出席者：平主査他

内容

1. 「高温引張試験方法のアンケート」まとめの報告。
アンケートによると、試験片、加熱時間、歪み速度などまつたくまとまりに欠けた現状であることが判明し、規格制定の必要性が痛感された。
2. 小委員会作成の第一次案の逐条審議：適用範囲から報告事項まで、詳細に討議の結果、「引張試験中の歪み速度をどのように規定するか」が、問題であるため、第2回アンケートでこれを詳細に調査し、第二次案を作成し、第3回分科会に提出することになった。

第3回JIS原案作成分科会 開催日：昭和40年2月20日。場所：協会々議室。出席者：平主査他20名

内容

1. 原案および解説の逐条審議
前回指摘された「適用範囲」と「負落方法」について集中討議した。適用範囲については、非鉄材料にも適用可の旨、解説に入れる。負荷方法は素案作成小委員の原案を可決。
ここにJIS原案作成作業を完了
2. 試験法の共同確認試験について。
政府の専門委までに、分科会内で試験法原案による共同試験を行ない、データを主査の許に送ることとなった。3月からこれを開始する手順となつてい

クリープ試験技術研究組合

幹事会 開催日：昭和40年1月28日。場所：協会会議室。出席者：富士鉄 村木氏他10名。

運営委員幹事会 開催日：昭和40年2月18日。場所：協会小会議室。出席者：俵委員長

第27回技術委員会 開催日：昭和40年2月9日。場所：協会々議室。出席者：平委員長他23名

内容

38年度および39年度の試験実施に関し検討を行ない、併せて40年度試験計画につき審議を行なった。

主なる議題は次のとおりである。

1. 38年度試験研究の現況および結果報告について。
2. 39年度試験実施方案原案について。
3. 40年度試験計画アンケート結果報告並びに同試験計画について。

鉄鋼基礎共同研究会

第9回研究会 開催日：昭和40年1月20日。場所：丸の内ホテル。出席者：金属学会、鉄鋼協会および学振代表者計10名

内 容

1. 鉄鋼基礎共同研究会規程(案)が承認された。
同規程案を各理事会および関係委員会に持ち帰り承認を求めることになった。
2. 各研究グループの進捗状況の報告があつた。

鉄 鋼 照 射 試 験
合 同 委 員 会

照射試験立合者連絡会 開催日: 昭和40年1月14日。
場所: 富士製鉄箱根山荘。出席者: 長谷川委員長他15名
第3回照射試験立合者連絡会 開催日: 昭和40年2月
23日。場所: 原子力研究所東海研究所。出席者: 長谷川

委員長他10名

臨時合同委員会 開催日: 昭和40年2月26日。場所:
協会々議室。出席者: 長谷川委員長他25名

第9回合同委員会 開催日: 昭和40年1月25日。
場所: 協会々議室。出席者: 長谷川委員長他28名

内 容

1. 経過報告 第1次試験工程の確認
試料発送, 照射, 照射後試験, 原研着
昭和40年月末, 3~4月, 5~6月, 6~7月
2. 炉外試験報告(第1次試験)
三菱製鋼, 阪大美馬研究室より報告が行なわれた。
3. ASME CODE 説明 船研 小倉氏
4. 40年度計画について
委員長より主旨の説明および構想を報告した。

支 部 記 事

東北支部

特別講演会 3月29日, 東北大学金属材料研究所講堂
において開催, 次の講演が行われた。

高炉スラグの熱力学的研究

マサチューセッツ工科大学名誉教授
ジョン・チップマン博士

東海支部

支部長交代 支部長関口春次郎君任期満了に伴ない,
後任支部長に関口次郎君(三菱重工(株)名古屋航空機製
作所技師長)が選任された。

40年度支部役員

支部長	関口 次郎		
理 事	浅田 千秋	荒木 鶴雄	井上 道雄
	佐伯 正夫	佐野 幸吉	沢本 八衛
	関口 次郎	堤 穎雄	矢島悦次郎
	山田 史郎		
評議員	赤沢 唯一	石井謙一郎	石原 康正
	市川 理衛	岩間 義郎	上田 倣完
	江口 勇	小津 悌二	小幡 鍊
	大里徳三郎	大谷南海男	大森 淳夫
	岡本 孝	沖 猛雄	桐原 朝夫
	小松 登	坂尾 弘	梶山 太郎
	鈴木 一郎	田崎 潤三	多田嘉之助
	佃 誠	中尾富士雄	中野 幸久
	新美 格	西川 政一	畑 栄一
	花井 優	深井 誠吉	藤原 達雄
	古沢 浩一	堀田一二三	益本 功
	松居菊千代	森 一美	森田 正俊
	湯川 夏夫	吉田 亨	吉森 孝良
	渡瀬 常吉		

中国四国支部

渡辺記念講演会 2月27日, 広島大学理学部講義室に
おいて開催, 次の講演が行われた。

金属の強度

京都大学工学部教授 高村仁一君

第10回学術講演会 2月27日, 日本金属学会支部と共
催で広島大学理学部講義室において開催, 次の講演(鉄
鋼協会分)が行われた。

1. Mn-Cr 系白鑄鉄に関する研究(その1)Mnの影響
三菱重工広島研究所 平田勇夫, 他
2. D.C.I(ダクタイル鑄)鉄の
普通焼入れに関する研究(第1報)
東洋工業(株) 平原民雄, 他
3. 孔拡試験値および機械的性質と
金属組織の関係について
日新製鋼呉工場研究所 白銀泰則, 他
4. 薄板の成形性におよぼす
ボンチ肩半径並びに潤滑条件の影響
東洋鋼板下松工場研究所 菊永 紘, 他
5. 冷間圧造用線材の加工性におよぼす
2, 3 の要因について
八幡製鉄光製鉄所 坂尾那須男, 他
6. オーステナイト系ステンレス鋼
溶接部の低温衝撃性質について
日新製鋼周南工場研究所 田辺寿久, 他
7. オーステナイト系ステンレス鋼塊直接
押出鋼管の表面性状について
八幡製鉄光製鉄所 中村貞男, 他
8. 原鉄中の金属鉄定量におよぼす
CaO についての検討
日新製鋼呉研究所 大前 春樹
9. 軟窒化法の研究
日立製作所笠戸工場 山本啓太郎

新入会会員氏名

(昭和40年1月1日～1月31日)

維持会員

新日本パイプ株式会社 1口
神港精機株式会社 2口

正会員

磯山 正 富士製鉄(株)
室蘭製鉄所
柴田 四郎 // //
本間 信雄 // //
石田 久雄 理研製鋼(株)
小熊 暢雄 // //
小山 幹夫 // //
曾田 良治 // //
西巻 猛 // //

中村 和憲 住友金属工業(株)
小倉製鉄所
堀 徳生 日新製鋼(株)呉工場
山本 安生 日本ステンレス(株)
直江津製造所
伊藤 尚 九州大学教授
秋野 達夫 中部鋼板(株)
今井 紘一 日伸製鋼(株)
上林 稔 松下電器(株)
佐藤 瑞夫 厚木自動車部品(株)
志村 五雄 // //
渡辺 善衛 // //

高橋 利雄 日本電工(株)
原田 明久 日本磁力選鉱(株)
永石 六雄 川崎製鉄(株)
宮島 忠彰 日曹製鋼(株)
森井 廉 大同製鋼(株)
梶原 徹
安彦 兼次

学生会員

沢井 敏明 鉄鋼短期大学鉄鋼科
清藤 耿介 // //
西阪 博司 東北大学工学部在学

(昭和40年2月1日～2月28日)

維持会員

(株)広和堂 1口

正会員

河野 彪 八幡製鉄(株)
技術研究所
柴田 政明 // //
横大路 照男 // //
米倉 保 // //
新井 瑞男 // 八幡製造所
中西 啓之 // //
馬場 威力 // 生産管理部
瀬山 吉之助 住友金属工業(株)
小倉製鉄所
西村 俊彦 // //
花田 満浩 // //
池内 弘 // 本社
高橋 進 // 和歌山製鉄所
城田 渉 川崎製鉄(株)
千葉製鉄所

鋤柄 繁夫 川崎製鉄(株)
千葉製鉄所
伊藤 欣一 住友特殊金属(株)
和田 正勝 // //
植田 東司男 大鉄工業(株)
吉川 忍 // //
柴田 藤祐 (株)淀川製鋼所
寺本 昭博 富士製鉄(株)
神田 正巳 三菱製鋼(株)
長崎製鋼所
田辺 寿久 日新製鋼(株)
周南工場
辻 一郎 三菱重工業(株)
小田 豊久 (株)日本製鋼所
室蘭製作所
松田 定之 (株)中山製鋼所
生井 亨 金属材料技術研究所
内海 友三 日本精工(株)藤沢工場

鈴木 静吉 (株)日立製作所
日立工場
土居 賢次 新日本化学工業(株)
阿部 興紀 東北大学金属材料研究
所
廉 永夏 // //
山家 弘暉 // //

学生会員

岩津 陽三 九州大学工学部
沢田 繁孝 // //
鶴 博彦 // //
片桐 君美 東京大学工学部
森下 勝 // //
林 清謙 // //
曾我部 卓三 愛媛大学工学部
佐藤 史生 東北大学選鉱製錬研究
所
井上 昌仁 鉄鋼短期大学鉄鋼科